

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.12.9

No. 65

種をまかないと収穫はない

イソップ童話の蟻とキリギリスの話は皆さんも知っているでしょう。蟻は常にせっせと蓄えをため、寒い冬も生き抜きますが、キリギリスはその日暮らしで冬の蓄えもなく、冬には死んでしまうという話です。



これと同様に、未来のために種をまかないと、収穫はありません。私達の人生の中でも将来のために種をまきそれを育てる努力をしないと、収穫は望めません。

世の中には端から見てうらやましくなるような活躍をしている人がたくさんいます。その人達は突然幸運が舞い込んできているわけではなく、日頃からの努力や積み重ねがあるからこそなのです。まず何よりも自分に種をまかないと何の芽も出てきません。私達も日々自分の将来に向けて、地道に種をまき大事にそれを育てる心がけをしないと、将来の収穫を得ることは出来ません。そうした地道な取組の中で皆さんの中にも将来大きな花を咲かせ、実を結ばせる人が一人でも多く出て欲しいものです。



どんな種をまくかは皆それぞれに異なります。自分にあった種を見つけ出し、しっかり育てて欲しいものです。

企業への年賀状の書き方

先に就職が決まった人は企業へ年賀状を出すように書きましたが、具体的な書き方を少し解説します。以下を読み必ず出しましょう。

提出先：原則として求人票に掲載していた人事担当者(社長でも可)。

書き方：例文は進路ノートに記載してあります。あくまでも参考として、各自で考えて出しましょう。ただし友人に出すような年賀状は避けましょう。出来れば手書きとし、印刷でもかまいませんが、通り一遍の文面ではなく、多少は自分の文章で。

年賀ハガキはあくまでも各自で用意すること。

学校へ持ってきてチェックを受ける必要はありません。

喪中の生徒は「寒中見舞い」として松の内明けの 1/8 頃～ 2/4 頃に出すか、本年度中に年賀欠礼として出しましょう。

人は弱い。だから、うまくいかなんことを他人のせいにして、自分は楽になるうとしてしまう。

親が悪い、環境が悪い、周りが悪い、学校が悪い。いくらだって、なにかのせいにはできる。

大人だってそうだよ。国が悪い、政治が悪い、会社が悪い、社会が悪い。テレビでも、そうやって、批判ばかりしている人がいる。

でも、ほんとにそうかな？ 実は、わたしたちは、十分に恵まれているんじゃない？

目が見える、歩ける、家族がいる、住む家がある。

喉が渴けば、すぐにコンビニで

ミネラルウォーターが買える。なのに、なんで文句ばかり言っているんだらう。

(きみの名前を呼びたい、

小林深雪)